

会議結果報告書

令和6年2月20日

会議の名称	令和5年度第2回いろは遊学館等運営審議会
開催日時	令和6年2月8日（木）14時00分～15時00分
開催場所	いろは遊学館 3階 第1・第2研修室
出席委員	青木りえ委員 堀川幸枝委員 神山富士子委員 野口敏明委員 細田和子委員 前田長子委員 中内彩瞳委員 中川定幸委員 西浦建貴委員 抜井俊委員 (計10人)
欠席委員	小林コト子委員 高橋貫委員 石川敦久委員 木村幸子委員
出席者職氏名	(いろは遊学館) 土岐館長 浅見主任 (宗岡公民館) 佐野館長 鈴木主任 (宗岡第二公民館) 吉田館長 (計5人)
説明員職氏名	(いろは遊学館) 浅見主任・土岐館長 (宗岡公民館) 佐野館長 (宗岡第二公民館) 吉田館長 (計4人)
議題	1 議事（報告事項） 令和6年度いろは遊学館、宗岡公民館及び宗岡第二公民館 事業計画について 2 その他 (1) 高齢者大学の対象年齢の引き上げについて (2) いろは遊学館等施設利用取扱基準の一部変更について
結果	報告事項 令和6年度いろは遊学館、宗岡公民館及び宗岡第二公民館 館事業計画について、質疑応答 その他 (1) 高齢者大学の対象年齢の引き上げについて (2) いろは遊学館等施設利用取扱基準の一部変更について 質疑応答

審議内容の記録（審議経過、結論等）

- 1 開会
- 2 いろは遊学館長挨拶
- 3 議事

令和6年度事業計画について

（いろは遊学館）

いろは遊学館は、令和6年度についても「地域の人づくり」の一環として、新たな情報の発信と、市民が学んだ成果を発表・還元できる場を提供し、人と人とを結び、交流できる環境づくりを進める。事業内容は、学社融合事業、高齢者事業、ICT学習支援事業、一般成人事業、家庭教育支援事業、青少年事業、サークル共催事業を実施する予定である。新規事業としては、3館リレー講座でヨガの事業を予定している。

以下、資料に従い、各事業の概要について、説明を行った。

（宗岡公民館）

宗岡公民館では、高齢者事業・ICT学習支援事業・一般成人事業・家庭教育支援事業・青少年事業・図書関連事業・サークル支援共催事業の7事業を柱として事業を実施する。

以下、資料に従い、各事業の概要について、説明を行った。

（宗岡第二公民館）

宗岡第二公民館は、総合福祉センター内にあり、事務所が1階、図書室が3階、貸館の10部屋が4階にある。総合福祉センターは、福祉センターや児童センター、子育て支援センター、教育サポートセンター、地域活動支援センターなどが併設された施設である。

令和6年度は、10の区分に分け、28事業を計画している。

以下、資料に従い、各事業の概要について、説明を行った。

（質疑応答）

委員）宗岡第二公民館の事業計画で、陶芸窯講習会が予定されているが、去年の事故で使用不可となっていた陶芸窯は、修繕されて令和6年度には使用再開の見込みはあるのか。

宗岡第二公民館）現在、陶芸窯は使用できる状態まで修理は終了しているが、事故原因の特定ができないため、今後、再発防止対策を考え安全に使えることが確認できてから再開となる。

委員）いろは遊学館の国際交流音楽会とは、どういう事業か。また、音楽サークルとは音サ連のことか。

いろは遊学館）市内にある国際交流会と音楽団体とのコラボ事業を考えているが、まだ、具体的には、決まっていない。音楽サークルは、音サ連のことではない。

委員）いろは遊学館のきらめき発見委員会の内容に若者にとあるが、どのような内容か。また年齢層は。

いろは遊学館）十文字学園女子大学学生有志とのコラボ事業で、大学生が企画、実施している。今年度も3回予定しておりそのうち2回実施した。参加者は、小学生、中学生と大人が中心であった。企画に携わった委員からも説明してもらおう。

委員）今年度はモノづくり系の事業であったが、昨年度は、アイドルの「ゆっふ

いー」に来てもらい、若者が参加する事業を行った。

委員) 宗岡公民館の初心者のためのパソコン個別指導は、各2名とあるが、毎回、別の人が対象か。24回では48名ということか。

宗岡公民館) 48名である。

委員) 高齢者が増えているが、公民館の保険加入者は増えたか。

宗岡第二公民館) 公民館施設で公民館総合補償制度という保険に加入しており、施設の利用中にケガをして通院した場合、通院した日数に応じて保険金が支払われる内容となる。保険を適用する事故は、年間1、2件発生している。

4 その他

(1) 高齢者大学の対象年齢の引き上げについての報告

高齢者大学の対象年齢の引き上げについて説明する。

3館の高齢者事業である、高齢者大学は、今まで、対象年齢を60歳以上の方としていたが、定年延長や高齢者雇用の促進などで、60代前半の方は、働いている方が多く、近年の受講生の年齢も65歳以上がほとんどであるため、令和6年度より65歳以上に対象年齢を引き上げることにしたので、ご報告する。

(2) いろは遊学館の利用に関する一部変更について

いろは遊学館の利用に関する一部変更についてご報告する。

現在、いろは遊学館は、施設の規模に対して、ご利用団体数が非常に多いことから、可動式の間仕切りを使用し、1つの部屋を2つの部屋としてお部屋を増やして多くの団体さんにご利用いただいている。

しかし、間仕切りで仕切っても、活動内容によっては、お隣の音が漏れてしまい、少なからずもトラブルや苦情が寄せられている。そのため、貸館の基準を見直し、お部屋の借り方を変更することにした。

変更の内容は、音が出る団体が利用する際に、第1・第2研修室と和室については、全面を利用してもらおう。和室については、今までの貸出基準では、音の出る団体は、使用不可であったが、今回の改正で、音が出る団体も全面使用することで、利用できるようになった。また、和室を利用する際に椅子がないことで、使いづらい状況であったが、和室用の椅子を購入したので、人数の少ない音楽団体も利用できるようになった。

また、ホールについては、防音設備があるので、今までどおりのご利用方法となる。

(質疑応答)

委員) 高齢者大学の対象年齢が引き上げということだが、60代前半の人が受講したくてもできないということか。今の対象年齢でも良いのではないか。

いろは遊学館) いろは大学では、80名の定員に、すぐ達してしまうため、対象年齢を狭めた。また、60代前半の人は、色々な活動をする機会があるため、高齢者大学にこだわらなくても良いと判断した。

宗岡第二公民館) 以前60代前半の人が入ってきたが、全体の年齢が高い為、内容がイメージと違うらしくすぐやめてしまう。それらを鑑み65歳からとした。

委員) 高齢者大学の内容は3館で同じなのか。高齢者の状態に合わせて変えても良いと思うが。館ごとに対象年齢を区切ってはどうか。(いろは遊学館は、65歳から74歳、宗岡公民館は75歳から84歳、宗岡第二公民館は85歳以上のように)

いろは遊学館) 高齢者大学の授業内容は、受講者のアンケートを参考に決めているので、3館が同じ内容ではない。

宗岡第二公民館) 館ごとに対象年齢を区切ってしまうと自宅から遠くて通えなくなってしまうことが考えられるため、それぞれの館で幅広い年代を対象とすることが望ましいと考える。

委員) 現在使用している駐車場、駐輪場は、何月までか。また、いろは遊学館の利用者がどのくらい駐車場・駐輪場を利用しているか。

いろは遊学館) 駐車場は、3月まで来年度以降は、使用できないため近隣の駐車場を探しており、現在交渉中である。駐輪場については、志木小学校のプールを駐輪場とする予定である。

5 閉 会